

オンライン形式の見学会を開催しました

研究推進部 研究推進室 土原健雄

7月3日(水)に、京都大学農学部の講義(環境水文学・3年生対象)において、オンライン形式の見学会を開催しました。

農村工学研究部門の研究紹介として、農地基盤情報研究領域 地域防災グループより「ため池の水難事故対策に関する研究」(井上敬資グループ長補佐)について、資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループより「メタン発酵における消化液の液肥利用」(折立文子主任研究員)について紹介を行いました。また、農村工学研究部門の試験採用や職場環境に関する問い合わせもあったため、研究推進室より情報提供を行いました。

学生の皆様からは、それぞれの研究内容・農村工学研究部門についての質問があり、意見交換を行いました。今後の皆様の研究活動、就職等へ参考となることを期待しております。



オンライン見学会の様子

研究背景
ため池の転落事故に関する対策

農研機構 NARO

ため池の水難事故対策を行うためには、ため池の上流斜面の構造に対する脱出困難度を定量的に評価することが重要

ため池転落事故に関する3つ対策
ため池の転落事故防止対策には、①啓発活動、②侵入防止、③脱出構造の3つがある。本研究では、脱出構造の評価・開発を目的とする。

大人への教育は？
啓発活動・教育

柵を乗り越える？
亜刈りが困難

侵入防止対策

転落時に脱出しやすい構造

命を守る最後の砦

これが研究対象

特に危ないと想定されるため池
下のため池は転落時に脱出が困難と想定されるため池。どれも一般的に存在する。

すべりやすいゴムシート

すべりやすい土斜面

囲むところがないブロック

9

井上グループ長補佐の研究紹介

農研機構 NARO

農業集落排水施設を中核とした地域バイオマスの効率的な活用システムの開発

課題
農業集落排水処理施設における維持管理費の削減 (汚泥処理費が6割)
農村全体での廃棄物処理コスト削減

↓

汚泥と農村地域で発生するバイオマスを混合メタン発酵し、消化液を液肥利用
既存の集排施設で実証
メタン発酵施設を併設
地域で発生する生ごみを収集し、汚泥とメタン発酵

研究内容
○室内メタン発酵試験 (消化液利用計画の策定、栽培試験の実施等)

6

折立主任研究員の研究紹介